

平成27年度事業計画について

《基本方針》

わが国の経済は、アベノミクス効果により緩やかな景気回復の兆しが見えていますが、消費税の増税等により、地方経済を取り巻く環境は依然として、厳しい状況が続いております。

このような中、世界に類を見ない速さで高齢化社会が進展しております。多種多様な地域ニーズに応じ、高齢者が労働力不足を補うとともに「福祉の受け手から社会の担い手」として活躍できるように「生涯現役社会」の実現が求められております。私たちシルバー人材センターは、高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的かつ短期的又は軽易な就業機会を確保・提供して、高齢者の生きがいの充実を図り、社会参加の促進により地域社会の活性化に寄与することも求められています。

本年度においては、国の補助金については削減傾向に一定の歯止めが期待されておりますが、その内容につきましては、各センターの基盤を一層強固なものとするため、新規会員の促進と就業機会の拡大を主とする「基盤拡大事業」と「高齢者活用・現役世代サポート事業」に重点が置かれています。しかし、国の高齢法の改正により、企業等の65歳までの雇用延長制度が既に定着していることから、入会者の伸び悩みが進むのではないかと危惧しています。

当センターとしても、こうした課題を乗り越えるため全ての会員とともに、シルバー事業は生きがいとして、高齢者に重要な役割を担っているという意識を持ち、諸計画を推進して更なる会員拡大や就業機会の開拓を図り、萩市・阿武町をはじめ関係機関の支援と協力を得ながら、より一層市民・町民から信頼されるセンターづくりに取り組んでまいります。

《事業計画》

①会員の増強

会員の確保・増大については、加入促進と退会者防止の側面があり、加入促進については、センターでの活動の正しい理解を促進し、特に少子高齢化が進む中、ニーズが増大している福祉・家事援助サービスの中心的な担い手である女性会員の入会を促進する。

②受注・就業機会の確保と拡大

会員の希望に応じた就業機会の確保については、総量としての受注の確保に加え、団塊世代を中心とする新規入会者の就業能力を想定した新規分野の就業種類の開発に努める。

③安全就業の推進

会員の多くは、センターの活動を通じて健康で生きがいのある生活を求めている。シルバー事業の運営にあたって安全就業の確保は、何より最優先される必要があります。事故防止(傷害事故・物損事故)に会員全体で努める。

④基盤拡大の推進

①会員の増強と②受注・就業機会の確保と拡大を、併せて更なる強固な基盤を作り、会員数の増・就業延べ人数の拡大を山口県シルバー人材センター連合会とともに推進する。

⑤高齢者活用・現役世代雇用サポートの推進

会員が派遣の就業により、現役世代の活躍を支えることができるようにする。請負・委任等による就業体制だけでなく、発注者と現役世代の要望に応え、就業できる分野を開拓して社会の一助としてサポートする。